



令和5年3月28日
静岡県信用農業協同組合連合会

静岡県信連グループ2か年計画策定のお知らせ

静岡県信連グループ（静岡県信連 代表理事理事長 田代芳彦）は、2年間を計画期間とする2か年計画を策定しましたので、概要についてお知らせいたします。

1. 名称

静岡県信連グループ2か年計画

「Value Creation ～信連ならではの価値深化・創造～」

2. 計画期間

2か年（2023～2024（令和5～6）年度）

3. 考え方

静岡県信連グループ（以下、「当会」という）は、食農分野において存在感を発揮し、農業・地域になくてはならない存在となるべく、“Vision（目指す姿）”「Agrigional Coordinator（アグリージョナル・コーディネーター）～食と農を未来へ ヒトと地域をつなぐ信連へ～」を設定し、実践しております。“Vision”を実現させることで、「持続可能な農業・地域の成長・発展への貢献」に繋がり、当会の存在意義を発揮することが出来ると考えます。

“Vision”を実現するためには、「2か年計画」の実践を通じて、「食農領域への貢献や会員 JA への機能還元・利益還元」により当会の価値を深化・創造させ、持続可能な農業・地域の成長・発展に貢献することが、当会の『サステナブル経営』であり、この考え方を根本思想と位置付けております。

本計画の実践に向けては、基盤（Base）となる人財・組織基盤等の“事業を支える経営基盤を充実・強化”させ、使命（Mission）として JA 系統の最大の強みである“食農領域における取組みの加速”、会員 JA に対する“機能還元の更なる充実”、投融資による安定収益確保を通じた“持続可能な利益還元”を果たすべく、あらゆる手段を講じていく所存です。

本計画は「Agrigional Coordinator」としての“第2フェーズ”と位置づけるとともに、当会が創出する価値を再定義し、深化・創造させるべく、名称を“Value Creation ～信連ならではの価値深化・創造～”と定め、実践してまいります。

4. 全体像

- Mission（使命） 1 食農ビジネスの価値向上
 Mission（使命） 2 JAの成長・課題解決サポート
 Mission（使命） 3 安定的な利益還元と財務運営
 Base（基盤） 経営基盤強化とサステナブルな組織風土・文化の醸成



*ステークホルダー：会員JA、組合員・地域の皆様をはじめ、農業者・食農関連企業・役職員など、当会事業の関係者全般を指す。

5. その他

詳細については、別添を参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
 静岡県信連 経営企画部（中村・青木）
 TEL：054-284-9654



静岡県信連グループ2か年計画

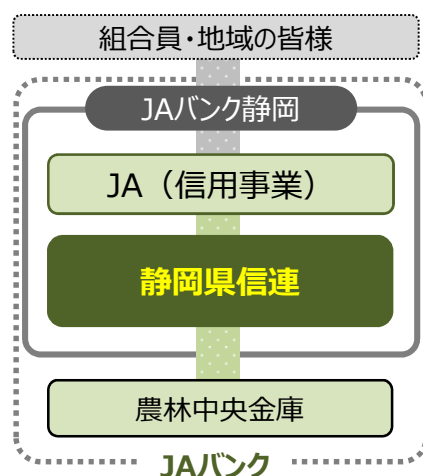
2023～2024（令和5～6）年度

Value Creation ～ 信連ならではの価値深化・創造 ～

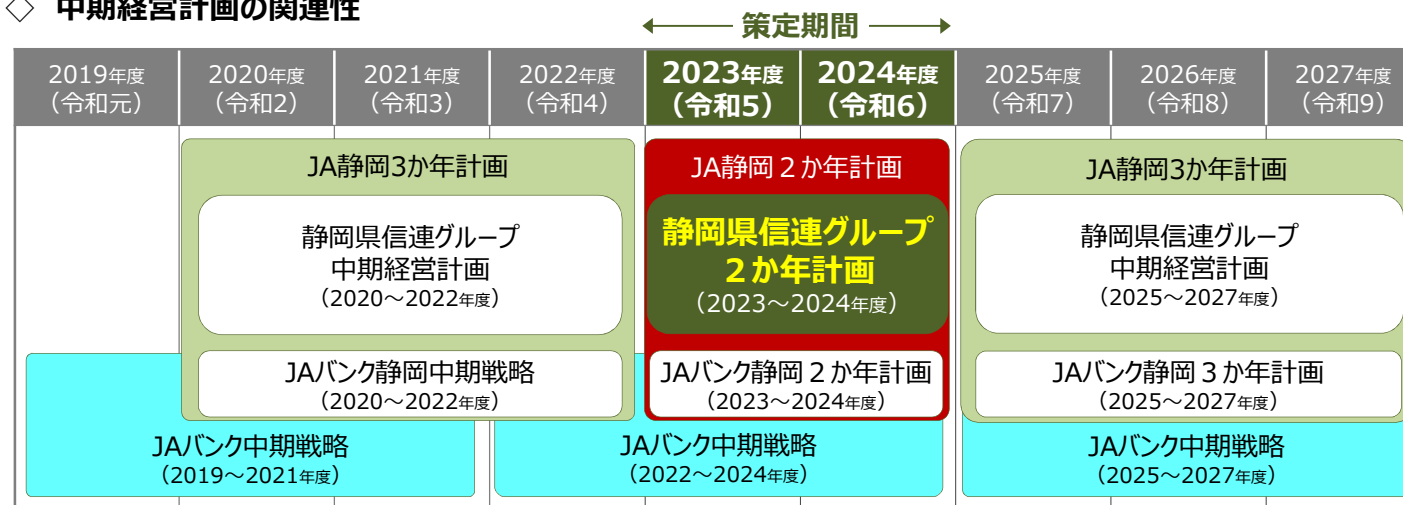


- 静岡県信連グループ（以下、「信連」という）は、食農分野において存在感を発揮し、農業・地域になくてはならない存在となるべく、“**Vision（目指す姿）**”「**Agrigional Coordinator（アグリージョナル・コーディネーター）～食と農を未来へ ヒトと地域をつなぐ信連へ～**」を設定し、実現に向けて取り組んでいるところ。この“**Vision**”を実現させることで、「**持続可能な農業・地域の成長・発展への貢献**」に繋がり、**信連の存在意義を発揮することが出来る**。
- “**Vision**”を実現するためには、「**2か年計画**」の実践を通じて、「**食農領域への貢献や会員JAへの機能還元・利益還元**」により**信連の価値を深化・創造させ**、持続可能な農業・地域の成長・発展に貢献することが、信連の『**サステナブル経営**』であり、この考え方を根本思想と位置付けて実践する。
- 本計画の実践に向けては、基盤（Base）となる人財・組織基盤等の“**事業を支える経営基盤を充実・強化**”させ、使命（Mission）としてJA系統の最大の強みである“**食農領域における取組みの加速**”、会員JAに対する“**機能還元の更なる充実**”、**投融資による安定収益確保を通じた“持続可能な利益還元”**を果たすべく、あらゆる手段を講じていく。
- 本計画は、「Agrigional Coordinator」としての“**第2フェーズ**”と位置づけるとともに、信連が創出する価値を再定義し、深化・創造させるべく、名称を“**Value Creation ～ 信連ならではの価値深化・創造 ～**”と定め、実践していくこととする。

◇ 組織図

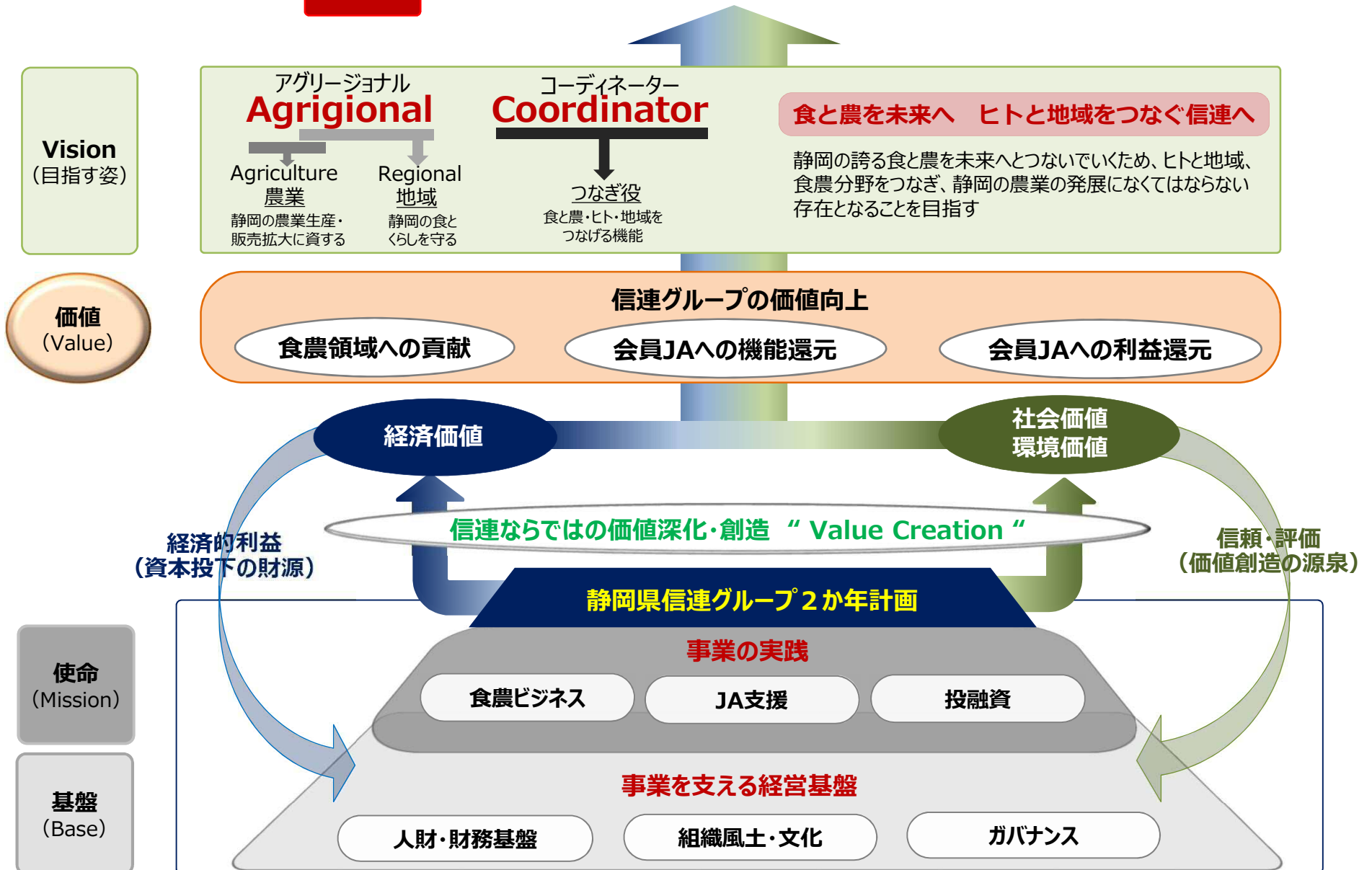


◇ 中期経営計画の関連性

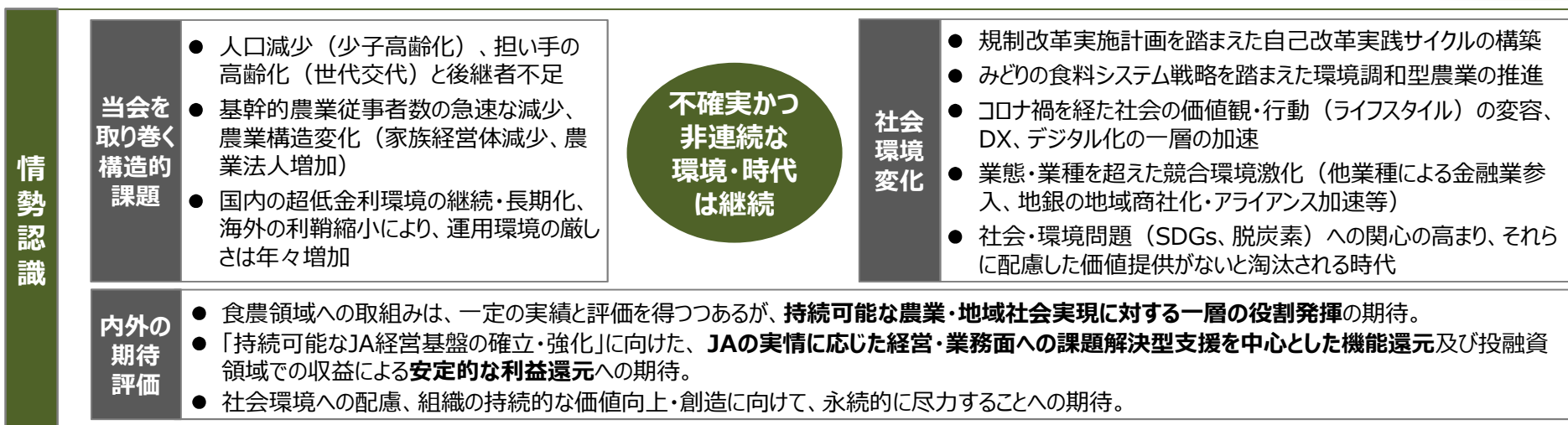


存在意義

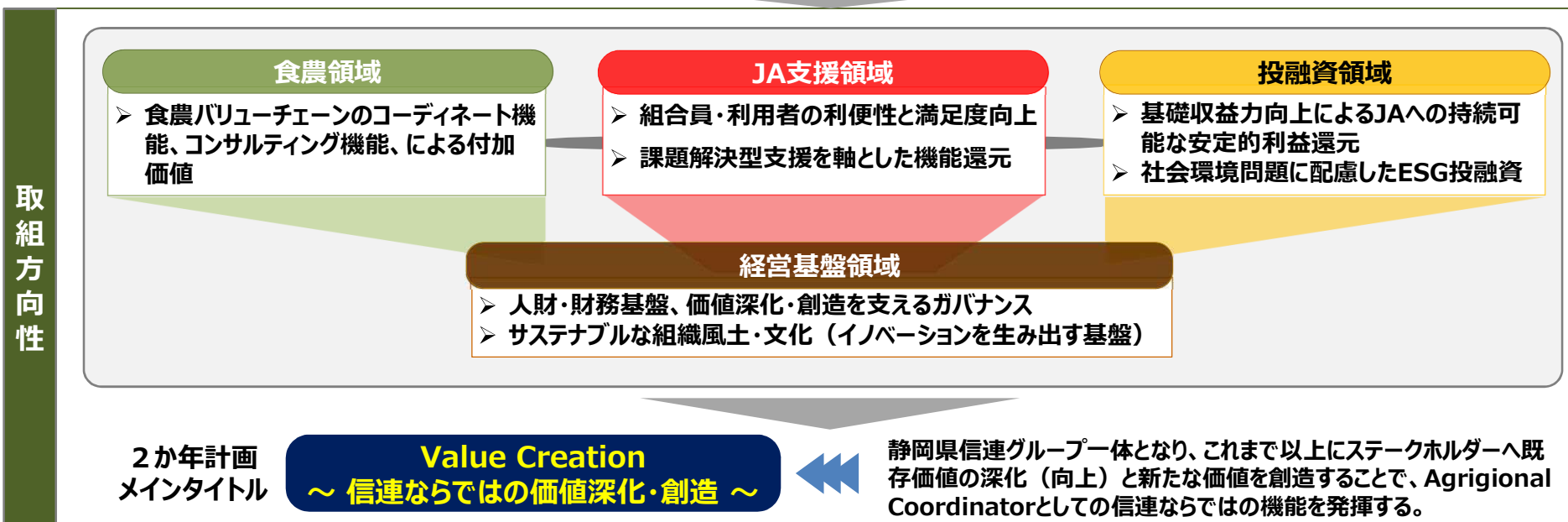
持続可能な農業・地域の成長・発展に貢献する



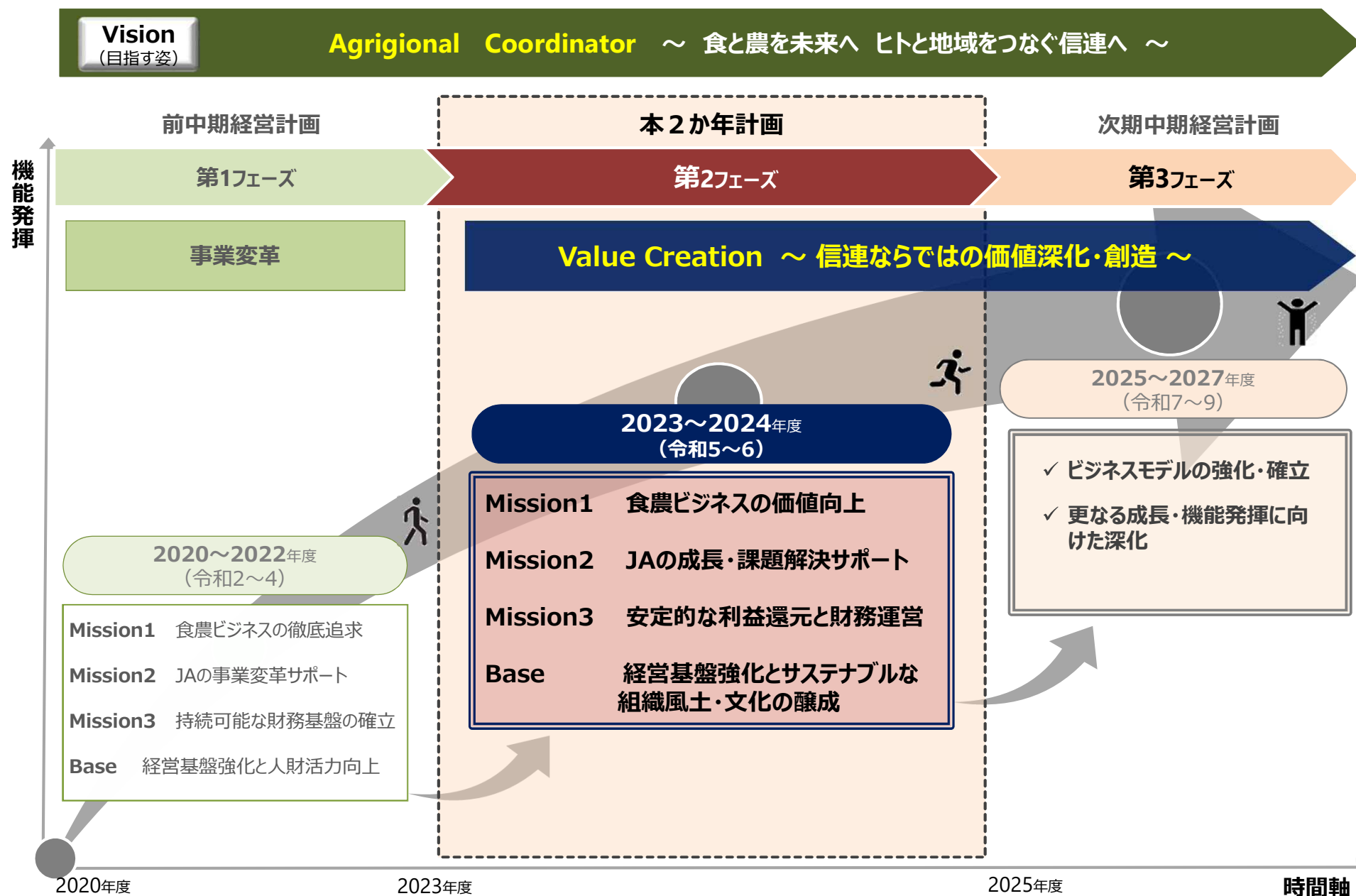
1. 情勢・課題認識及び取組方向性



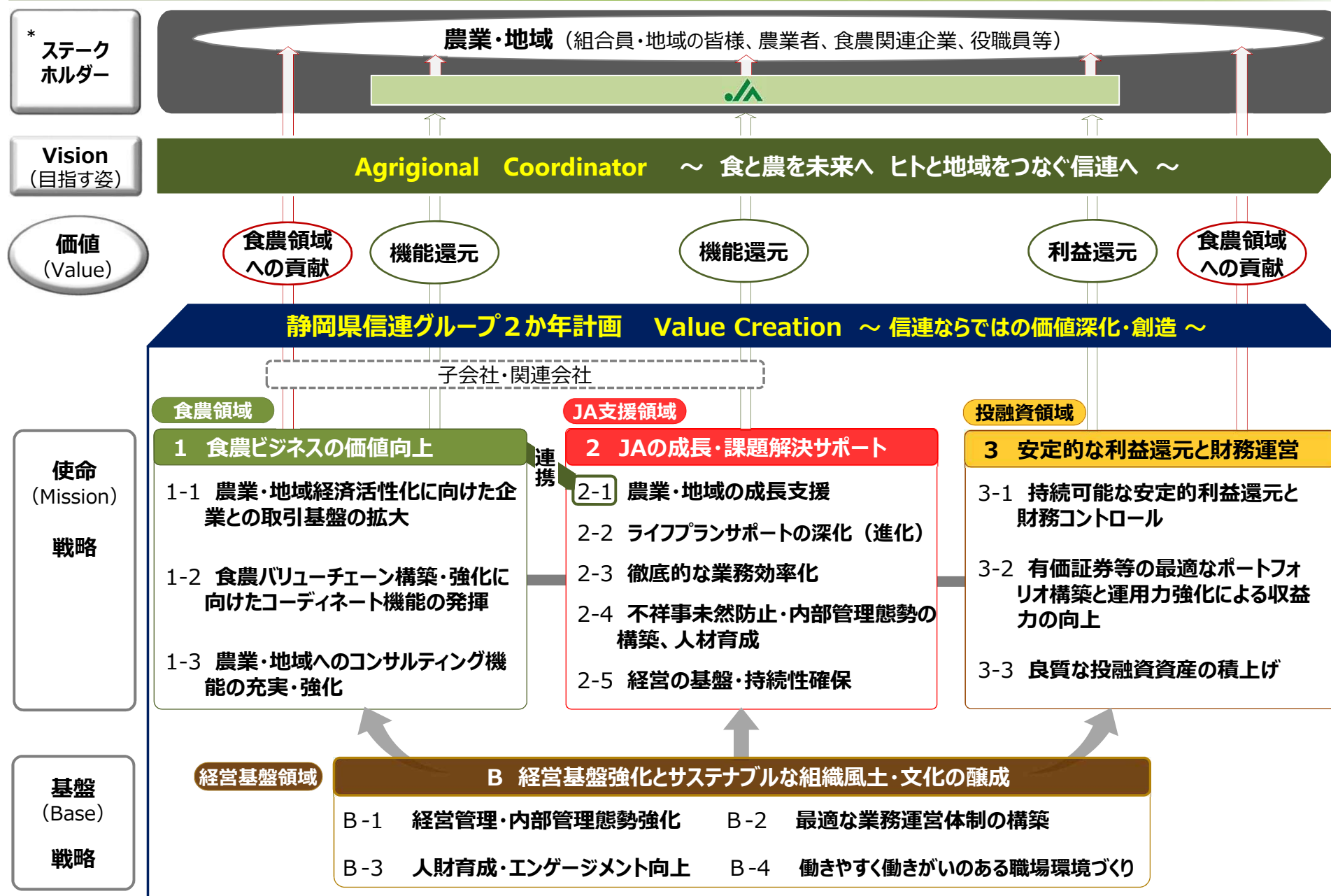
静岡県信連グループならではの価値を再定義



2. 位置づけ



3. 全体像



4. 概要（戦略・戦術）

Mission 1 食農ビジネスの価値向上

戦略 1-1

農業・地域経済活性化に向けた 企業との取引基盤の拡大

- 農業者・食農関連企業のサポート徹底による一層の関係構築
- 地域経済活性化に資する県内営業基盤の維持・拡大
- 他組織との連携を生かした営業展開
- 事業性評価に基づく提案型営業の推進



戦略 1-2

食農バリューチェーン構築・強化に向けた コーディネート機能の発揮

- 食農ビジネス・マッチングの充実化、成約効果の把握
- 産地化、地域固有農産物の発信、輸出等の新たな取組みへの支援



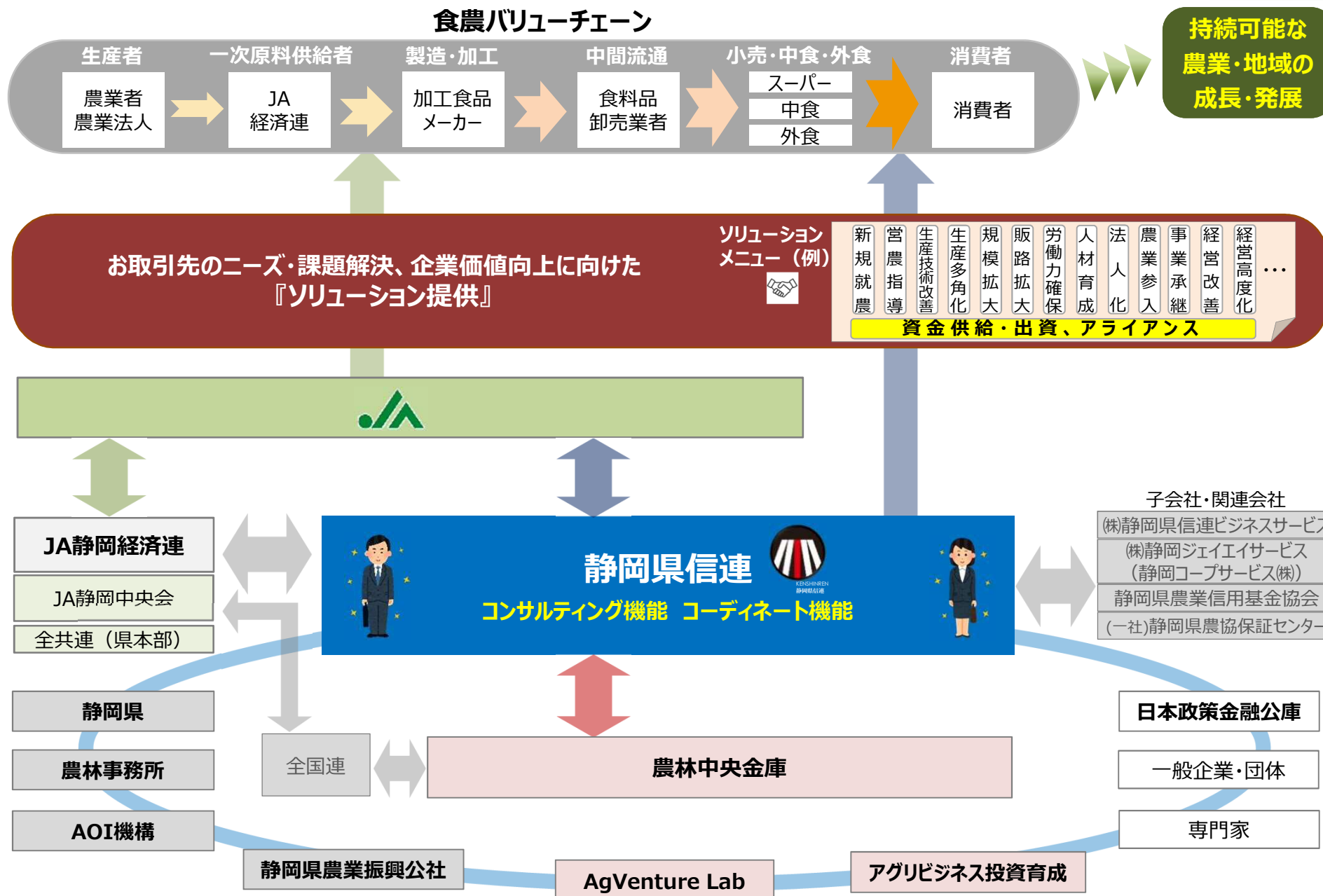
戦略 1-3

農業・地域へのコンサルティング機能の 充実・強化

- 顧客ニーズに沿った最適な金融支援
- 行政、外部機関等を活用したコンサルティング機能の発揮
- コンサル人材の育成とコンサルティング態勢の強化



参考) 食農ビジネスの価値向上に向けた鳥瞰図



Mission 2 JAの成長・課題解決サポート

戦略 2-1

農業・地域の成長支援

- 農業資金の競争力強化に向けた対応支援
- JAバンク静岡アグリサポートプログラムの実践
- 担い手経営の安定・所得向上に向けたコンサルティング機能の強化支援



戦略 2-2

ライフプランサポートの深化（進化）

- 生活資金の対応力強化に向けた推進・商品戦略等の実践支援
- ライフイベントセールスの実践
- ライフプランコンサルティングの実践（資産形成・運用、相続・資産相談等）



戦略 2-3

徹底的な業務効率化

- 「持ち込まれる事務の削減」策（集金業務見直し、媒体移管計画の完了等）の実践
- 「店舗に持ち込まれた事務の効率化」（営業店・全国貸出システム等）の実現



戦略 2-4

不祥事未然防止・内部管理態勢の構築、人材開発

- 不祥事発生を未然に防ぐための意識強化・牽制定着化・発見機能強化
- 金融機関に求められる内部管理態勢（JAバンク3線モデル、マネロン等）の充実・強化
- 時代環境に求められるJA役職員の人材育成支援



戦略 2-5

経営の基盤・持続性確保

- 収支見通しに基づく早期警戒制度への適切な取組支援
- 持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けた取組支援（JA営農・経済事業の成長・効率化戦略、店舗再編、調達適正化）



JAバンク静岡 2か年計画（骨子）

目指す姿

農業・地域の“ファーストコールバンク”へ
～ 選ばれ必要とされ続けるJABank静岡の実現～

本計画 における 事業方針

1

「相談・提案型」推進による組合員・利用者満足度の向上

農業所得・満足度向上、地域活性化

組合員・利用者本位の業務運営

金融仲介機能の発揮

2

持続的な収益構造の構築

貸出収益・
運用利回り確保

適正な調達

メイン化進展

役務取引
手数料見直し

店舗事務
効率化

効率的な店舗 運営体制

実践事項

金融仲介 機能の 発揮

1

農業・地域の成長支援

- ・ 農業資金の競争力強化
- ・ 農業者に対する金融仲介機能の強化・発揮
- ・ 農業者と消費者をつなぐJAバンクならではの取り組み
- ・ 地域の課題に即した地域活性化への取り組み

2

ライフプランサポートの深化（進化）

- 生活資金の強化
- ライフイベントセールスを通じた利用者基盤の維持・強化
- ライフプランコンサルティングの実践
(資産形成・運用、相続相談)
- 渉外・窓口体制の再構築
- キャッシュレスを活用した農産物の販売促進

機能発揮 の土台

3

徹底的な業務効率化

コスト構造の抜本的見直し

- ・ 店舗に持ち込まれる事務の削減（集金業務見直し、媒体移管計画完了等）
- ・ JA店舗事務効率化への取組み
- ・ 店舗に持ち込まれた事務の効率化（営業店・全国貸出システム）

リソース（人材・時間）
の創出

4

不祥事未然防止・内部管理態勢の構築、人材開発

- ・ 不祥事未然防止の取組み
- ・ 内部管理態勢の構築
(JAバンク版 3 線モデル、マネロン対策、リスク管理態勢の高度化)
- ・ 特殊詐欺対策
- ・ 統一事務手続の運用
- ・ 施策実践を担う人材開発

5

・ 早期警戒制度への適切な取組み
・ 持続可能な経営基盤の確立・強化
・ 収支改善・コスト削減の取組み

戦略 3-1

持続可能な安定的利益還元と財務コントロール

- 信連預金施設を中心とした安定的利益還元
- 経営基盤の確立・強化に向けた最適な運用・調達構造の構築
- 機動的な財務運営による自己資本の充実



戦略 3-2

有価証券等の最適なポートフォリオ構築と運用力強化による収益力の向上

- 将来にわたる安定的な利息収益確保のためのポートフォリオ構築
- 市場環境・相場動向の分析に基づいた機動的な売買による収益の積上げ
- 収益性や諸リスクを考慮した運用手法や商品への投資の検討・実施



戦略 3-3

良質な投融資資産の積上げ

- 安定収益確保を意識した投資型融資の実践
- 社会環境問題に配慮したサステナブル・ファイナンスへの取り組み



戦略 B-1

経営管理・内部管理態勢強化

- コンプライアンスの徹底、情報セキュリティ強化に向けた対応
- 安定収益確保のためのリスク・リターンコントロールの高度化
- 気候変動・社会課題等を踏まえた管理・態勢の構築



戦略 B-2

最適な業務運営体制の構築

- 外部環境の変化に対応した信連グループ全体の最適な業務運営
- 生産性向上とリソースの有効活用
- BCP対応を踏まえた組織体制の構築



戦略 B-3

人財育成・エンゲージメント向上

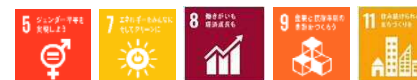
- 向上心・成長意欲に満ち溢れた自立した人財の育成（HRビジョン）
- エンゲージメントの向上に資する人事施策の実践



戦略 B-4

働きやすく働きがいのある職場環境づくり

- 多様化する価値観、働き方（場所・時間・環境等）への対応
- 社会課題の解決に向けた地域との協同活動の実践・深化

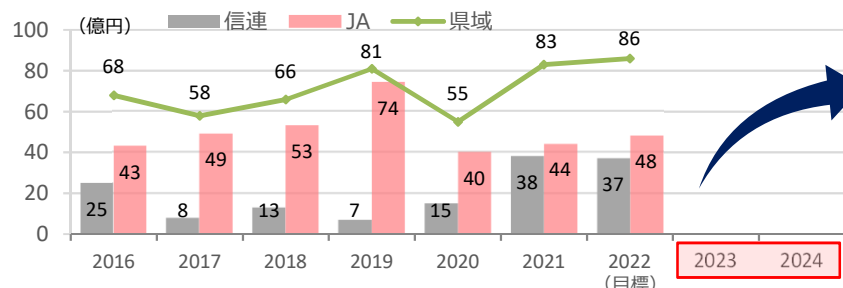


5. 実践する主なKPI

■ Mission1 ■ Mission2 ■ Mission3 ■ Base 静岡県信連

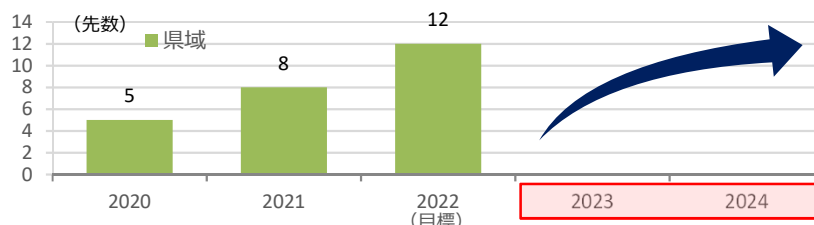
存在意義発揮に向けた取組み

農業融資新規実行額（JA・信連・県域）

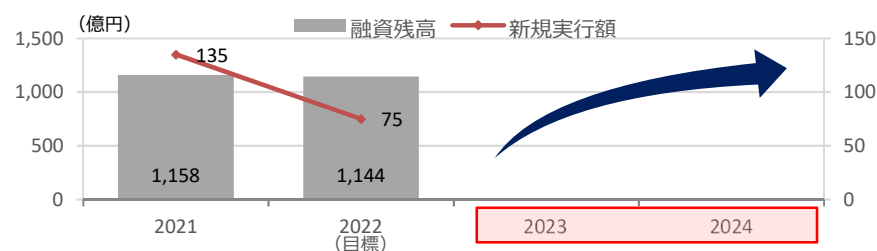


具体的な数値は単年度事業計画等で設定

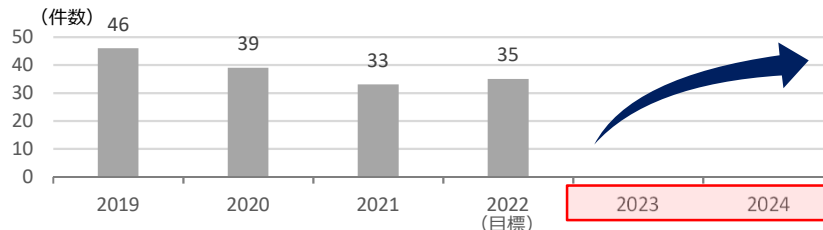
担い手コンサルティング※1 実施件数（県域累計）



食農関連企業金融取引（信連）



食農ビジネスマッチング成約件数（信連）



新規実行額（JA）

新規実行額（信連）

新規実行額【県域】

実施件数【県域】

※1 担い手経営体の経営課題を可視化し、JA及び経済連等と連携して、他の地域金融機関とは異なる総合事業体ならではの解決策を提案することで、担い手の成長（＝農業所得向上）とJA総合事業の成長の両立を目指す取組み。

取引先数（信連）

新規実行額（信連）

融資残高（信連）

成約件数（信連）

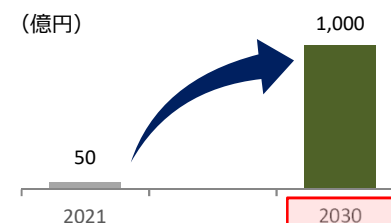
TCFD※2提言に基づく取組み

※2 TCFDとは、「気候変動関連財務情報開示タスクフォース」の略称で、2015年12月に金融安定理事会（FSB）が金融システム安定化を図るために設置した組織。2017年6月に、気候変動関連リスク・機会の評価と財務への影響等について、情報開示することを提言している。

サステナブル・ファイナンス※3

2030年度

新規累計 **1,000億円**

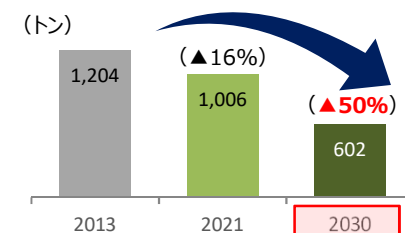


※3 持続可能な農業・社会の実現に向けたお取引様のESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（持続可能な開発目標）への取組みを支援する資金供給

温室効果ガス排出量（GHG）削減

2030年度

50%削減（2013年対比）



※ 排出量は、環境省の算定方法を基に電気・ガソリン等から算出した概算値。

静岡県信連グループ SDGs宣言



静岡県信連グループは、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の趣旨に賛同し、「創造性ある金融サービスを通して地域社会に貢献する」という経営理念のもと、「**Agrigional Coordinator**」として、ヒトと地域、食農分野をつなぎ、地域社会と農業の持続的発展に貢献します。



重要課題 (マテリアリティ)	主に該当する SDGs項目	主な対応内容	取組指標
持続可能な農業・地域 社会の実現	        	● 多様な枠組みを通じた農業・地域への資金循環 ● 農業者・食農関連企業のサポート徹底による一層の関係構築 ● 食農ビジネス・マッチングの充実化、成約効果の把握 ● ソリューション提供による課題解決・ニーズ対応 ● 農業資金の競争力強化に向けた対応支援 ● 担い手経営の安定・所得向上に向けたコンサルティング機能の強化支援 ● 社会課題の解決に向けた地域との協同活動の実践・深化	● 食農ビジネスマッチング成約件数 ● 農業融資新規実行額 ● 担い手コンサル実施件数 ● 食農関連企業金融取引 ● 地域の民俗芸能保存・伝承活動への支援 ● 地域農業・社会の発展に貢献することを目的とした金融支援事業、担い手育成・食農教育応援事業
環境の負荷低減	  	● 社会環境問題に配慮したサステナブル・ファイナンスへの取組み ● GHG排出量削減を目的とした電力使用量削減等 ● ペーパレス化の推進 ● 気候変動・社会課題等を踏まえた管理・態勢の構築	● サステナブル・ファイナンス ● 温室効果ガス（GHG）排出量削減額 ● 地域に根ざした環境保全活動への参加
サステナブルな 職場環境構築	   	● 多様化する価値観、働き方（場所・時間・環境等）への対応 ● 働きがいの充実や健康経営にかかる取組み	● 女性管理職比率の向上 ● 管理職の時間外労働の削減 ● 非管理職の時間外労働の削減



【デザイン】

上方に向かって伸びる直線は、『調和・地域・協同・創造・健全』を意味し、それら5つが団結して、JA・信連一体となって上昇することを意味しています。また、常に安定した社会を創造し、未来に前進することも表現しています。

【カラー】

- 赤 常に前進しようとする情熱とエネルギー
- 白 何ものにも染まらぬ潔白
- 黒 確固たる信念、強い意志、団結、安定